

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団紀洋会	代表者	余田洋右	法人・事業所の 特徴	通所・訪問・宿泊を柔軟に組み合わせ、お一人おひとりの想いや生活に合わせたサービスを提供しています。日々の関わりを大切に、気持ちに寄り添った支援を心掛けています。介護職員は研修を通じて専門性を高めるとともに、看護師・音楽療法士・理学療法士などの専門職と連携し、意欲向上や生活の活性化につながる支援を行っています。「担当制」により、継続した関わりの中で個別支援を充実させています。また、地域に根ざした事業所を目指し、地域との繋がりを大切にしながら、日々の生活が充実するよう工夫を続けています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 三田	管理者	山田 千春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も毎月のミーティングは全職員で実施し、情報共有や意見交換を行っていく</li> <li>新入職員に対して、情報共有や報連相の大切さを伝え指導していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングに参加できない職員については、事前に意見や情報を提出してもらい、内容を共有することで、全職員がミーティングに関われる体制を整えている</li> <li>新入職員の入職があった。毎月のミーティングを通じて業務内容や注意点を共有し、意見交換を行いながら、報告・連絡・相談の重要性を繰り返し伝えている。その結果、職員間の情報共有が進み、チームとしての連携強化に繋がっている</li> </ul>	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のミーティングでは、全職員が意見交換できる場を整え、気づきや課題を共有し、チームとして統一した支援を行う</li> <li>アセスメントの頻度を増やし、心身状態や生活状況の変化を早期に把握することで、状態変化に応じた、よりきめ細かな支援の提供を目指す</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に通いたくなるような心地の良い雰囲気づくりを意識する</li> <li>おもてなしの精神を持って、利用者・来客者へ対応する</li> <li>事業所の環境整備に努めていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所されるご利用者や来客者に対し、笑顔で明るく、気持ちの良い挨拶を心掛けた</li> <li>事業所に通いたくなるような心地よい雰囲気づくりを意識し、おもてなしの気持ちを持った対応に努めた</li> <li>事業所駐車場に除草剤を散布し、除草を実施した</li> <li>一部雑草が残っている箇所については、環境整備の時間を十分に確保できなかったため、今後時間を設けて対応していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関に季節の花や野菜を植えられ、明るいイメージ</li> <li>におい、騒音に配慮されており気にならない</li> <li>事業所に来ると職員が明るく挨拶してくれる</li> <li>感染症を気にしていた時期もあったが、最近では気兼ねせず、訪問できるようになった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に「また来たい」と感じていただけるよう、心地の良い雰囲気づくりを目指す</li> <li>玄関だけでなく事業所内にも季節感を取り入れ、居心地の良い空間づくりを行う</li> <li>おもてなしの気持ちを大切に、ご利用者や来客者へ丁寧に対応する</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な方へ地域包括や民生委員と連携し、支援していく</li> <li>感染症予防に配慮しながら地域行事へ積極的に参加していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な方に対し、地域包括支援センターや民生委員と連携しながら支援を行っている</li> <li>インフルエンザ感染症の影響により、三田小学校との初めての交流会は書面での意見交換という形で実施した。感染症が落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の住む地域の民生委員と繋がり支援してくれている</li> <li>認知症マルシェでは職員がボランティアとして参加してくれた</li> <li>狭間中学校、ゆりのき中学校のトライやるウィークを受け入れされ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて地域包括支援センターや民生委員と連携し、情報共有を行いながら、切れ目のない支援を目指す</li> <li>感染症の流行状況に配慮しつつ、地域行事への参加やボランティアの協力を依頼することで、ご利用者の活性化</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所との世代間交流はご利用者の活性化に繋がるため、継続していく</li> <li>・トライやるウィークや介護実習生等の受け入れを今後も継続し、介護職の魅力を発信していく</li> <li>・感染症の影響を考慮しながら、ボランティアへ協力を依頼しご利用者の活性化に繋げていく</li> <li>・新たな繋がりを大切にし、地域全体で高齢者を支える環境作りに貢献できる事を発信する</li> </ul>	<p>ち着き次第、時期を見て直接交流する機会を設ける予定である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所・幼稚園とは、七夕行事を通じて世代間交流の機会を持つことができた</li> <li>・三田市主催の認知症マルシェに、ボランティアとして参加した</li> <li>・法人内の三田市内事業所が連携し、地域イベントを実施した。多くの地域住民が参加され、地域との繋がりを深める機会となった</li> </ul>	<p>ていた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーナやフラダンスボランティアの受け入れを行っている</li> <li>・南区の行事があまり開催できておらず、開催時にはぜひ参加していただきたい</li> </ul>	<p>に繋げる</p> <p>トライやるウィークや介護実習生の受け入れを継続し、介護職の魅力や現場のやりがいを伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の催しに積極的に参加し、新たな繋がりを築き、地域との関係づくりを大切にする</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要な際にはご家族の了承を得て情報共有し、対応する</li> <li>・地域行事や認知症カフェなどへ参加できるよう工夫し、地域との繋がりが途切れないよう支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の住む地域の民生委員、地域包括支援センターと定期的に情報共有を行い、必要に応じてご家族の了承を得た上で連携し、支援に繋がっている</li> <li>・地域行事に参加されるご利用者については、事前に訪問を行い、当日の準備や送迎を含めた支援を実施した</li> <li>・地域で開催されている認知症カフェへご利用者と共に参加し、地域との関わりが継続できるよう支援している</li> <li>・外出希望に関するアンケートを実施し、ご利用者一人ひとりの意向を把握することで、外出支援や個別支援計画に役立てることができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居のご利用者を家族や民生委員とサポートする体制を築いている</li> <li>・外出やイベントは広報誌にて発信され、分かりやすい</li> <li>・認知症カフェへご利用者をお連れすることで外部との関わりが持てている</li> <li>・地域イベントに事業所職員がボランティア参加し、またご利用者ご家族の参加にも繋がった</li> <li>・車に乗る事が好きのため、ドライブの機会を増やして欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の住む地域の民生委員と連携を図り、必要時にはご家族の了承を得たうえで情報共有を行い、安心して生活を続けられるよう支援する</li> <li>・地域との繋がりが途切れないよう、日頃から関係づくりを意識した支援を行う</li> <li>・外出希望に関するアンケートを実施し、ご利用者一人ひとりの希望を把握し、希望に沿った外出の機会を増やすことで、生活の楽しみや活性化に繋げる</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagramを使いこなせる職員がいないため、勉強会を実施し、事業所の取り組みを発信していく</li> <li>・運営推進会議メンバーからいただいたアドバイスを取り入れ、運営に反映していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram 活用に関する勉強会を法人で開催したが、当日は職員配置が少なく、参加することができなかった。10月に新入職があり、次年度は職員体制を整えた上で、勉強会に参加し、事業所の取り組みを発信していく</li> <li>・運営推進会議でメンバーからいただいた助言や意見を職員間で共有し、日々の業務や事業所運営に活かしている。共有内容には事業所の取り組みに対する評価や励ましの言葉も含まれており、職員のモチベーション向上にも繋がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の形はこのままで良い</li> <li>・事業所の取り組みは広報誌を見ると良く分かる</li> <li>・法人でInstagramの勉強会を開催する等、情報発信にも力を入れている事が伺える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram では、大きなイベントはできるだけスピーディーに情報発信を行う</li> <li>・運営推進会議を通じて、事業所の取り組みを地域や関係機関に伝え、理解を深める。また、会議で得た意見や気づきを日々の運営や支援の改善に繋げる</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、地震などの自然災害報告が増えているため、実際に自然災害を経験された方々のお声を伺い、現場での課題や必要な支援について検討した上で防災、災害訓練を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人主催の災害研修に参加し、実際に災害を経験された方の生の声を聞く機会を持った。災害時は想定を超える状況が起こり得ること、また、避難所においてはSOSシートの活用が有効であることなど、現場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の防災訓練には、参加できていないが、次年度はぜひ参加したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族や地域の方、運営推進メンバーに事業所の防災訓練への参加を呼びかけ、積極的に関わってもらえるよう発信し、訓練の効果を高めるとも</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・食品やおむつ等の備蓄品はローリングストックを意識し定期的にチェックしていく</li><li>・ご家族や地域の方にも事業所の防災訓練に参加してもらえるよう発信する</li><li>・事業所のある地域の防災訓練に参加し、地域貢献に努める</li></ul>	<p>での課題や必要な支援について具体的に把握した</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・食品やおむつ等の備蓄品については、ローリングストックを意識し、使用期限を確認しながら定期的な入れ替えを実施している</li><li>・感染症状況が落ち着いたことから、ご家族や地域の方へ防災訓練への参加の声掛けを行ったが、参加には至らなかった</li><li>・地域の防災訓練には参加できなかった</li></ul>		<p>に、地域との繋がりや防災意識の向上につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SOSシート、緊急持ち出しシートは定期的に見直し確認する</li></ul>
--	---	--	--	---